

かつしか 区議会だより

第3回定例会

9月	15日	本会議（一般質問等）
	16日	本会議（一般質問、議案の付託等） 決算審査特別委員会
	17～25日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	28日	議会運営委員会
	29日	本会議（議案の議決）
30日～10月2日		特別委員会（地方分権・行革、危機管理 対策、都市基盤整備）
	5～13日	決算審査特別委員会
	13日	議会運営委員会理事会
	15日	議会運営委員会
	16日	本会議（議案の議決等） 常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

主な内容 2～4面…一般質問 5～7面…決算特集 8面…可決された議案ほか

No.225 平成27年（2015年）11月15日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX 5698-1543



議長選挙

今回の定例会では、8名の議員から区政一般質問が行われたほか、平成27年度一般会計補正予算(第2号)をはじめとする区長提出議案22件、意見書の議員提出議案2件が可決されました。また、定例会最終日に、秋家聡明議長、くぼ洋子副議長の辞職に伴い、議長・副議長選挙が行われ、新議長に安西俊一議員、新副議長に荒井彰一議員が選出されました。



議長
安西俊一

新議長に安西俊一議員、
新副議長に荒井彰一議員を選出

平成26年度決算5件を審査・認定



副議長
荒井彰一

就任のあいさつ

10月16日に開かれました本会議におきまして、私も議長並びに副議長に就任をいたしました。誠に身に余る光栄であると同時に、改めてその職責の重大さを痛感しているところでございます。

さて、区政を取り巻く状況は、子育て支援・教育環境の充実、安全・安心なまちづくり等の重要課題が引き続き山積する一方、社会保障・税金番号制度の対応等新たな行政課題も発生しており、区民福祉向上のために区政の果たすべき役割は一層重要度を増しております。

こうした状況の中、私も区議会が本区の意思決定機関としての責任と使命を重く受け止め、全議員が力を合わせて区民の皆様の負託と信頼に応えると同時にさらなる区政進展のため、全力を傾けていく所存でございます。

区民の皆様には、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

区議会議長 安西俊一
区議会副議長 荒井彰一

新しい委員会構成

(平成27年10月16日現在)

今回の定例会の最終日に、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の各委員の一部が変更されました。新しい委員会構成は、下表のとおりです。(◎委員長 ○副委員長 ◇理事)

常任委員会	総務委員会 (10名)	◎倉 沢 よう次 小 山 たつや	○会 田 浩 貞 出 口 よしゆき	池田 ひさよし 天 野 ゆうや	筒井 たかひさ おりかさ 明実	上 原 ゆみえ 米 山 真 吾
	保健福祉委員会 (9名)	◎く ぼ 洋 子 江 口 ひさみ	○かわごえ 誠一 黒柳 じょうじ	伊藤 よしのり 三小田 准 一	新 村 秀 男 むらまつ 勝康	平田 みつよし
	建設環境委員会 (10名)	◎秋 家 聡 明 牛 山 正	○山 本 ひろみ 中 村 しんご	安 西 俊 一 工 藤 きくじ	梅 沢 五十六 うめだ 信 利	米 川 大二郎 水 摩 雪 絵
	文教委員会 (10名)	◎上 村 やす子 向 江 すみえ	○峯 岸 良 至 中 江 秀 夫	秋 本 とよえ 大 高 拓	小 用 進 中 村 けいこ	荒 井 彰 一 小 林 ひとし
議会運営委員会 (12名)	◎筒井 たかひさ ◇米 山 真 吾 出 口 よしゆき	○上 原 ゆみえ 秋 本 とよえ 三小田 准 一	◇平田 みつよし 伊藤 よしのり	◇中 村 しんご く ぼ 洋 子	◇大 高 拓 黒柳 じょうじ	
特別委員会	地方分権・行革特別委員会 (12名)	◎天 野 ゆうや 牛 山 正 中 村 けいこ	○江 口 ひさみ 向 江 すみえ むらまつ 勝康	秋 本 とよえ 山 本 ひろみ	小 用 進 中 江 秀 夫	峯 岸 良 至 会 田 浩 貞
	危機管理対策特別委員会 (12名)	◎梅 沢 五十六 荒 井 彰 一 かわごえ 誠一	○三小田 准 一 上 原 ゆみえ 水 摩 雪 絵	秋 家 聡 明 く ぼ 洋 子	伊藤 よしのり おりかさ 明実	米 川 大二郎 大 高 拓
	都市基盤整備特別委員会 (12名)	◎出 口 よしゆき 上 村 やす子 うめだ 信 利	○新 村 秀 男 黒柳 じょうじ 小 林 ひとし	倉 沢 よう次 中 村 しんご	筒井 たかひさ 工 藤 きくじ	平田 みつよし 米 山 真 吾

監査委員 池田 ひさよし 農業委員 米 川 大二郎
監査委員 小 山 たつや 農業委員 向 江 すみえ

政治家の寄附は、禁止されています。また、年賀状等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く 一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

答「獣医師や飼育員の協力、地域の理解等を考慮しながら、提案の施設も含め、災害時動物保護施設の具体的な設置場所を検討する。」



災害時における飼育動物対策の普及啓発ブース(総合防災訓練)

答「国は来年度中に、都は5年以内、浸水想定区域の見直しを実施する予定であり、区ではその結果を踏まえ、早ければ平成29年度から洪水ハザードマップの見直しに着手する考えである。」

答「(仮称)「翼カブツ」開催にあたり、キャブテン開催に登場する都市との連携を図り、友好を深めるべきだ」ということだ。」

答「一般区間の用地買収率は100%となった。駅前区間については区が主体的に権利者との話し合いを進め、事業に対する理解が得られてきている。」

答「平成27年度末で27%と目標に達していないものもある。推薦団体に一層女性参加を増やそう働きかける。」

答「平成27年度内に区内8カ所の緊急医療救護センターに1台ずつ配備する。今後区内のすべての避難所への計画的な配備が必要とされており、総合防災訓練や避難所運営訓練などで搬送訓練を充実する。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」



教育資料館

区政を聞く 一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

区内周産期医療の充実と南葛S.C.との協働の推進を

答「現在の施設は老朽化・耐震性などの課題を抱え施設更新手法を検討していたが、今年8月に区内での移転建設に向けた有地の活用や支援依頼が実現し、移転先候補地として新宿図書館センター及び道路補修課敷地を活用することとした。」

答「平成27年度内に区内8カ所の緊急医療救護センターに1台ずつ配備する。今後区内のすべての避難所への計画的な配備が必要とされており、総合防災訓練や避難所運営訓練などで搬送訓練を充実する。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」



高砂中学校図書室

答「平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、49校中40校、中学校が24校中13校である。」

区政を聞く 一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

に努め、新たな活用策を検討する。

※他の質問項目 社会体育会館
住みなれた地域で安心してくらするよう

地域包括ケアシステムモデル事業
問 モデル事業の実施にあたって、地区内の実態調査は1千500人のアンケート調査のみでは不十分、全員を対象に調査すべきと思うがどうか。

答 モデル事業実施地区内の供給体制の抽出、需要量の調査などの実態調査を実施する。対象者数は、統計上信頼性が担保できる数であり、全員を対象にする考えはない。

問 地域包括ケアシステムの地域単位は
中学校区が理想とされており、モデル地区内では中学校は4校ある。地域包括ケアシステム拠点の地域包括支援センターなどの大幅な増設計画を持つべきと思うがどうか。

答 モデル地区内に地域包括支援センターや特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護施設の大幅な増設計画を持つことは考えていない。

※他の質問項目 先進事例に学んだ計画の策定

介護保険の改悪による負担増
問 今年度からの制度改悪で、収入が増えないのに利用料が2割負担となったり、補給給付の打ち切りで大幅負担となる方がいる。独自の助成を行い救済すべきと思うがどうか。

答 制度改正は保険料上昇を可能な限り抑えつつ、現役世代の過度な負担を避けることも、負担の公平化を図るために実施されたもので、区としては独自の助成を行うつもりはない。

プレミアム商品券
問 今年の年末も含め、来年度も実施し、大型店の取扱いをさらに限定した上で発売額・販売箇所を大幅に増やしてはどうか。また、75歳以上のお年寄りや障害のある人などに優先的に販売する仕組みを検討するとともに、広報を充実し、取扱店を増やすため

に、手続きを簡素化してはどうか。

答 販売から2カ月近く経過し、商品券の発行規模、販売箇所、広報、取扱店手続き、販売の仕組みなど課題を認識した。今後の発行は、実施結果を検証しながら商品券発行主体の葛飾区商店街連合会とも研究していく。

政 策 葛 飾
問 区のさらなる前進と医療環境の充実を

今後の区政運営
問 子どもが元気に育つまちや健康都市、快適都市などの区民との公約の実現についてどのように評価しているのか。また、今後2年間、どのように区政を運営していくのか区長の見解を伺う。

答 病院誘致を実現したほか、健康部を創設し区民の健康づくりを応援するための取り組みの推進、本区ゆかりのキャラクターや地域特性を活かした観光施策の取り組みなど本区のイメージアップや地域活性化にも成果が上がっているものと考えている。ハード面での施策では、安全・安心なまちづくりや駅周辺の街づくりなどに重点的に取り組み、金町駅南口の再開発や京成線の連続立体交差事業など、長期にわたる事業も着実に前進していると認識している。今後も、「区民第一、現場第一」「スピード感」「おもてなし」を区政運営の基本に据え、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けて積極的に取り組んでいく。

人材育成
問 平成22年3月に策定された葛飾区人材育成基本方針に基づく取組状況とこれまでの成果、今後の見直しのスケジュールについて具体的に伺う。

答 職場で育てる」を基本に据え、管理監督者が現場での仕事を通して職員を育成し、職場でのコミュニケーションを高めながら、「おもてなしサービス」の向上や「挑戦し続ける職員の育成」「業務改善の推進」などを進め、これらを実践するため、「あいさつ運動」「接遇向上研修」「協働の取組」「職場プロデュース研修」などに取り組んでいる。こうした取り組みの結果、政策・施策マーカー調査においても区民評価は向上しているものと認識しており、このまま継続し、さらに充実していく。

医療環境の充実
問 葛飾赤十字産院の施設更新にあたり、周産期医療の拠点病院としての機能を強化することが計画されているのか。また、区としてどのように機能強化を要望していくのか伺う。

答 災害に強い病院づくりに加え衛生面やプライバシーに配慮した動線確保や部室の配置、機能的な分娩室や手術室の整備を図りたいと聞いている。区としては、産院の移転替えにあたり、区内での安定した事業継続と病院経営を行ってもらうことを踏まえながら、周産期を中心とした医療の充実や地域医療連携の強化、災害

時における医療機能の強化及び子育て支援策の充実に向けた区の施策との連携などについて要望していく。

問 葛飾赤十字産院の施設更新にあたり、どのような地域貢献の協働の取組を進めていくのか見解を伺う。

答 移転先の新宿図書館センターの図書館機能を敷地内等に残すことをはじめ敷地内にある深井戸や防火水槽の機能の継続などについて、区民の皆様や地域の方々の意見を踏まえながら産院と協議を進めていく。

問 急速に社会状況が変化していくなか、区民ニーズを的確に把握し、区政を効果的・効果的に運営していくためには、職員一人ひとりの政策形成能力と法務能力を高めることが必要であると考えている。政策形成に要する研修については職層研修に標準的に組み入れるほか、先進自治体視察研修を実施するなど工夫している。法務能力に関する研修については地方自治法、地方公務員法、行政法、法令文の書き方講座など、行政運営に必要な知識の習得を目的に実施している。今後とも区職員の政策形成能力や法務能力が高まるよう検討・工夫をしていく。

※他の質問項目 区職員研修の開催数・参加人数・成果 など

民主 党 葛 飾
問 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

答 京成押上線連続立体交差化の一体的なまちづくりの検討を

問 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

答 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり



葛飾赤十字産院

問 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

答 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

問 葛飾区の男女平等推進計画

答 第四次男女平等推進計画の成果と第五次計画に向けての課題を伺う。

答 第四次計画における「ワーク・ライフ・バランスの推進」では、誰もが仕事と家庭生活を大切にしたい暮らしを送るよう、理解を深めるための講座や普及啓発を行った。「あらゆる暴力の防止」では、DVの未然防止、早期発見、相談の充実、被害者支援に取り組んだ。「女性の参画」では、政策や方針を決定する過程への女性の参画拡大を推進した。こうした取り組みを進めたことにより一定の成果は上げられたが、男性は仕事優先、女性は家庭を優先している実態があり、完全な男女平等社会には程遠い実状にあると認識している。第五次計画では、こうした状況を踏まえ、葛飾区男女平等推進審議会での審議を重ねて、より実効性の高い計画としていきたい。

※他の質問項目 性同一性障害支援 など

問 葛飾区の特別支援教育

答 葛飾区特別支援教育

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

問 宝木塚小学校の支援体制

答 宝木塚小学校の支援体制



宝木塚小学校しょうぶ学級

平成26年度各会計決算

	歳入決算額 (円)	対前年度 伸び率	歳出決算額 (円)	対前年度 伸び率	歳入歳出 差引額 (円)
一般会計	180,724,644,023	3.0%	172,234,702,762	2.5%	8,489,941,261
国民健康保険事業特別会計	51,617,981,201	-0.4%	51,214,137,204	-0.3%	403,843,997
後期高齢者医療事業特別会計	8,571,552,161	6.3%	8,565,618,093	6.3%	5,934,068
介護保険事業特別会計	31,944,117,102	5.8%	31,766,103,564	6.4%	178,013,538
駐車場事業特別会計	712,593,129	-1.2%	712,350,077	-1.1%	243,052
合計	273,570,887,616	2.7%	264,492,911,700	2.5%	9,077,975,916

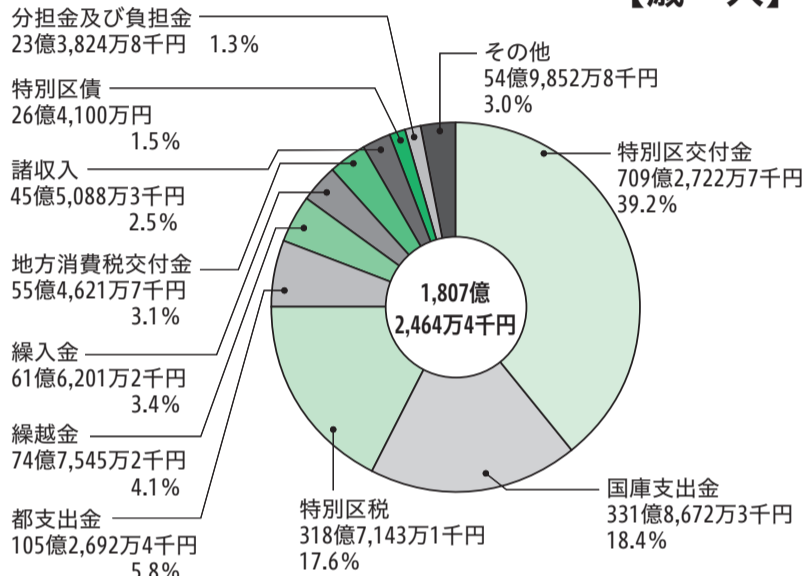
9月16日の本会議において、平成26年度各会計歳入歳出決算5件を審査するため、36名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。決算の審査は、第1～4までの各分科会において詳細に行われ、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算についての採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月16日の本会議において認定されました。

決算審査特別委員会

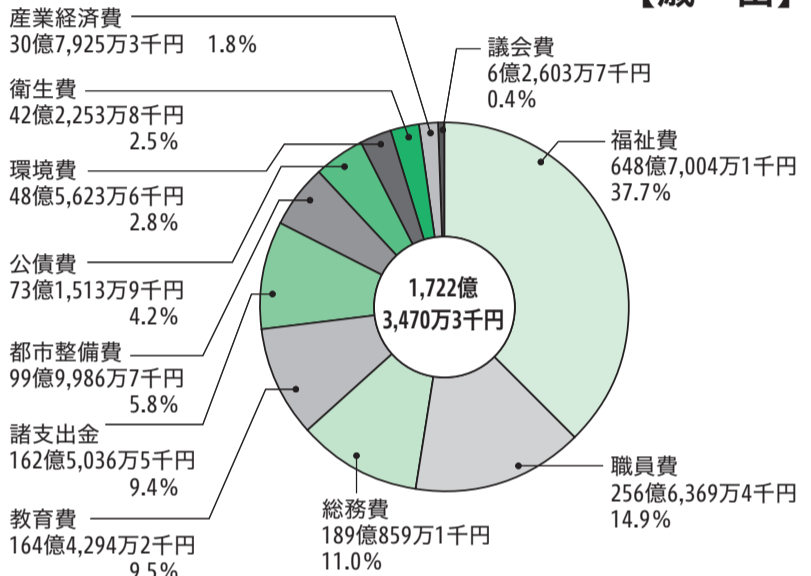
平成26年度決算を審査

一般会計

【歳入】



【歳出】



※その他は使用料及び手数料など。 ※千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。 ※比率は小数第2位を四捨五入して小数第1位まで表示しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

決算審査特別委員会 委員長報告 (要旨)

決算審査特別委員会は、平成26年度各会計歳入歳出決算について審査を行うために、9月16日の本会議において、36名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費及び公債費以下と各特別会計歳入歳出決算を所管しました。

10月5日から8日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、10月13日に、当委員会は、各分科会長からの審査経過及び各会派からの意見の報告を踏まえ、各会計歳入歳出決算について採決を行いました。

採決の結果につきましては、「一般会計歳入歳出決算」、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」、「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」、「駐車場事業特別会計歳入歳出決算」については、いずれも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

また、「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」については、全会一致で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

平成26年度決算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成26年度決算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

夢と誇りあるふるさと葛飾の実現をめざして

平成26年度は、消費税率8%への引き上げもあってマイナズ成長となったものの、10%への引き上げが見送られ、円安・原油安・株高などの要因に支えられ、その後の日本経済は一定の堅調さを維持している。自由民主党議員団は、本区の経済や区民の暮らしに明るい希望をもたらすよう、今後とも区長と連携して区政運営に取り組んでいく。以下に、26年度決算に対する意見を述べる。

総務費のまち・ひと・しごと創生総合戦略推進経費については、多様な取り組みを積極的に検討されたい。事業を展開する上では国内に留まらず外国の都市など連携する自治体の拡大を求める。選挙費については、投票率向上のため、公営掲示板の設置箇所の改善を要望する。

職員費については、人件費の適切な管理を評価する。
産業経済費の商業振興事業経費については、商店街共通商品券とプレミアム付き商品券をセット販売するなど、消費・誘客を喚起する工夫を求める。
福祉費の社会福祉費では、障害児や保護者のニーズに沿ったサービスの質の向上に今後も取り組むよう要望する。

高齢者福祉費では、東京拘置所跡地並びに西亀有3丁目都営第3アパート跡地に特別養護老人ホームを早期に整備し、区民が利用できるよう、区の支援と都への積極的な働きかけを要望する。生活保護費の法外援護事業経費については、塾代助成は都の補助により財源の担保もあることから、貧困の連鎖の解消や高校進学率の向上のために対象の拡大を要望する。

衛生費の衛生管理費では、地域健康づくり事業のさらなる拡大を望む。出張健康講座やまちかど健康相談をアリオ亀有だけでなく、区内各地のコンビニ

二エンスストアなどで実施してはどうか。公衆衛生費のがん対策事業経費については、女性特有のがんである子宮がん・乳がんの早期発見のため、若い世代への検診率向上などに取り組むよう、さらなる施策の実施を求める。

環境費の緑と花のまちづくり事業経費については、基本計画の重要プロジェクトの一つであることから、さらなる取り組みを求める。花いっぱい推進協議会の参加率向上や、本庁舎や公共施設を花で飾るなどの取り組みを求める。清掃費については、コンテナ中継所の効率的な活用について検討するべきと考える。

都市整備費では、補助18号線・261号線整備は水元地域の発展に鑑み、大変重要な事業であることから、次期4次事業化計画においても着実な取り組みを継続するよう強く要望する。西水元地区の街づくりについては、地域の要望に沿った支援を引き続き要望する。

教育費のうち、小中連携教育については、一つの小学校から複数の中学校へ進学する課題があることから、一貫した学習指導と小中連携教育の充実のため、通学区域の見直しなどの検討を求める。学校図書館については、学校司書の充実を要望する。校舎改築は、新校舎だけでなく、仮校舎の経費についても効率化するよう求める。特別支援学校については、区内小学校に合わせ、運動会を休日を実施するよう要望する。学校への苦情や相談が増えている現状に鑑み、教育委員会に弁護士を配置するなどして、学校関係者の相談体制を強化するよう求める。ICT教育推進については、組織体制を再検討し、より確実な取り組みを要望する。

図書費については、利用者数拡大のため、宅配サービスの充実・図書返却ポストの増設などの工夫を求める。学校地域応援団については、コーディネーターをより広い区民の中から募集することを要望する。

各特別会計については、適切に執行されていると評価する。

次の定例会は11月下旬開催予定です

可決された議案

議案名下の分は意見の分かれた議案
(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案 22件】

予算 4件

- ▼平成27年度一般会計補正予算(第2号)分
 - 歳入歳出にそれぞれ19億7千20万3千円を追加し、予算総額を1千792億2千847万4千円とする。
- ▼平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
 - 歳入歳出にそれぞれ4億5千377万5千円を追加し、予算総額を61億8千277万5千円とする。
- ▼平成27年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
 - 歳入歳出にそれぞれ1千743万7千円を追加し、予算総額を91億5千143万7千円とする。
- ▼平成27年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
 - 歳入歳出にそれぞれ2億5千527万円を追加し、予算総額を34億8千927万円とする。

歳出決算分

制定する条例 2件

- ▼個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例分
 - 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に必要事項を定める。
- ▼空家等対策協議会条例
 - 葛飾区空家等対策協議会を設置する。

廃止する条例 1件

- ▼教育資料館条例分
 - 教育資料館を廃止する。

一部を改正する条例 5件

- ▼事務手数料条例分
 - 個人番号カード再交付手数料等を定める。
- ▼地域コミュニティ施設条例分
 - 新小岩憩い交流館を廃止する。
- ▼児童館条例分
 - 新小岩児童館を廃止する。
- ▼体育施設条例分
 - 社会体育会館を廃止する。
- ▼災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例分
 - 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、障害共済年金等の支給を受ける者の損害補償について、障害厚生年金等の支給を受ける者と同様の支給調整をする。

その他の 1件

- ▼葛飾区とソウル特別市麻浦区との姉妹都市提携
 - 平等互恵の原則のもと、相互交流と協力を通じて両都市の共同発展と繁栄を図るため、葛飾区とソウル特別市麻浦区との姉妹都市提携を締結する。

議員提出議案 2件

- ▼地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ▼地方税財源の拡充に関する意見書

結果の出た請願

- ▼地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ▼地方税財源の拡充に関する意見書

不採択 3件

- ▼「安全保障関連法案の廃案を求める意見書」の提出に関する請願
- ▼国に対し「安全保障関連法案を徹底審議し、今国会で採択しないことを求める意見書」の提出を求める請願
- ▼所得税法第56条の廃止を求める請願

採算 5件

- ▼平成26年度一般会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算

契約 4件

- ▼上千葉小学校体育館建築その他工事請負
- ▼総合スポーツセンタープール等機械

設備改修工事請負

八剣橋橋梁架替(その1)工事請負

電光得点表示装置等の買入れ

その他 1件

- ▼葛飾区とソウル特別市麻浦区との姉妹都市提携
 - 平等互恵の原則のもと、相互交流と協力を通じて両都市の共同発展と繁栄を図るため、葛飾区とソウル特別市麻浦区との姉妹都市提携を締結する。

議員提出議案 2件

- ▼地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ▼地方税財源の拡充に関する意見書

結果の出た請願

- ▼地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ▼地方税財源の拡充に関する意見書

不採択 3件

- ▼「安全保障関連法案の廃案を求める意見書」の提出に関する請願
- ▼国に対し「安全保障関連法案を徹底審議し、今国会で採択しないことを求める意見書」の提出を求める請願
- ▼所得税法第56条の廃止を求める請願

採算 5件

- ▼平成26年度一般会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算

契約 4件

- ▼上千葉小学校体育館建築その他工事請負
- ▼総合スポーツセンタープール等機械

お知らせ

- ▼会派幹事長の変更(10月13日付)
- 自由民主党議員団
 - (新)筒井 たかひさ
 - (旧)安西 俊一
- 葛飾区議会公明党
 - (新)上原 ゆみえ
 - (旧)出口 よしゆき

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対)

件名	会派名()内は会派所属議員数										議決結果
	自民(13)	公明(11)	共産(5)	政葛(3)	民主(3)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)	無※4(1)		
予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決算	平成26年度葛飾区一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成26年度葛飾区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	平成26年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成26年度葛飾区駐車場事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例	葛飾区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
	葛飾区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
	葛飾区教育資料館条例を廃止する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
	葛飾区地域コミュニティ施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
	葛飾区児童館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
	葛飾区体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
請願	「安全保障関連法案の廃案を求める意見書」の提出に関する請願	×	×	○	×	○	○	×	○	×	不採択
	国に対し「安全保障関連法案を徹底審議し、今国会で採択しないことを求める意見書」の提出を求める請願	×	×	○	×	○	○	×	○	×	
	所得税法第56条の廃止を求める請願	×	×	○	○	×	○	○	○	×	

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、政葛=政策葛飾、民主=民主党葛飾、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会派名	構成議員名													
自由民主党議員団	秋本とよえ	梅沢五十六	平田みつよし	秋倉みづよし	家沢岸良	聡よう次	明次至	安小川	西用川	俊進	池田筒井	ひさよし	伊藤新	よしりのり
葛飾区議会公明党	荒井彰一	井本洋子	山本ひろみ	上原じょうじ	黒柳	ゆみえ	じょうじ	牛山	山正	江口	出口	ひさみ	村上	やす子
日本共産党葛飾区議会議員団	天野ゆうや	会田浩貞	野田誠一	おりか	高拓	明実	拓	中工	江藤	秀夫	中村	しんご	三小田	准一
政策葛飾	かわごえ	誠一		中村	けいこ	米山	真吾							
無所属(※1)	うめだ	信利												
無所属(※2)	小林	ひとし												
無所属(※3)	水摩	雪絵												
無所属(※4)	むらまつ	勝康												

- 会 長 秋家 聡明
- 副 長 くぼ 洋子
- 委 員 平田 みつよし
- 委 員 上原 ゆみえ
- 委 員 中江 秀夫
- 委 員 大高 誠一
- 委 員 かわごえ 隆
- 委 員 佐々木
- (区議会事務局長)

次の「かつしか区議会だより」は1月発行予定です